

まちづくり瓦版

～うつくしま、まちづくり推進レポート～

Vol.76 令和3年11月5日発行

奥会津地域 土木施設 観光資源化調査モニターツアー

奥会津地域は、平成23年7月の新潟・福島豪雨にみまわれるなどによる、災害対応工事が進められており、河川改修、JR只見線復旧等の事業が展開されております。また、発電ダム等の歴史的な土木構造物も多い地域です。

このたび、奥会津地域の活性化方策とし、土木施設を観光資源として、ダム、JR只見線、道路などの施設を組み合わせた調査モニターツアーを令和2年に続き実施しました。

【実施日】

令和3年10月23日（土）

【場 所】

三島町、金山町、昭和村

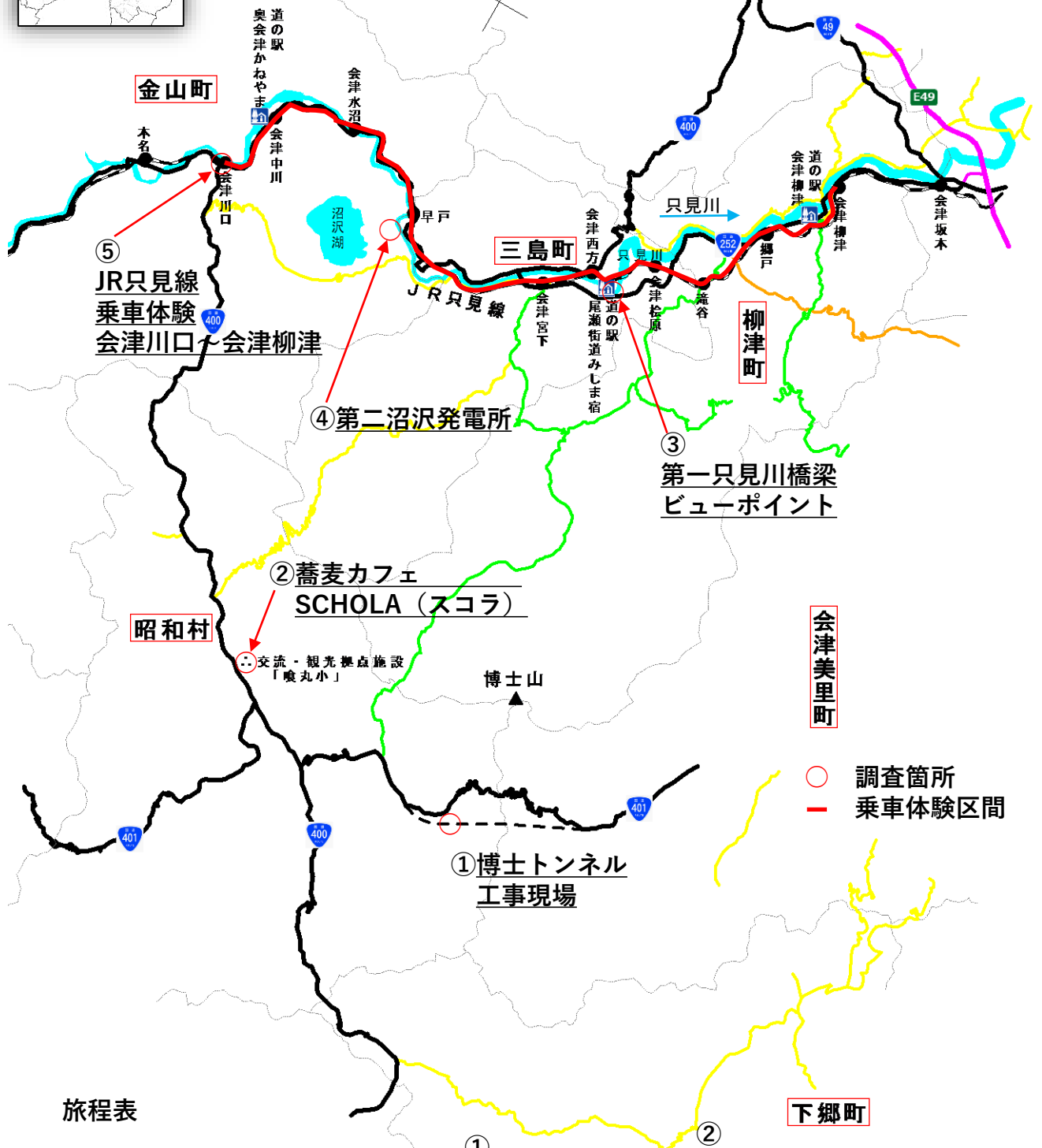
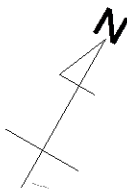
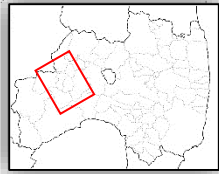
【内 容】

通常ではあまり体験出来ないトンネルの工事現場やJR只見線沿線のビューポイントの見学、立ち入ることのできない発電所施設の内部見学を通し、観光資源としての特性や移動行程等の確認を行いました。

モニターツアーでの施設見学や体験、日程、費用等についてアンケート結果をもとに分析を行い、旅行会社等での新規の商品造成に役立ててもらうものです。

【参加者】

県内の20代から70代までの10名（男性5名、女性5名）
（ホームページ、新聞記事等で募集）



会津美里町

○ 調査箇所
- 乗車体験区間

旅程表

※中型バス利用 福島駅 6:30	会津若松駅 8:00	※工事中のトンネル内部を特別見学 ○博士トンネル工事現場 9:35	11:00	※喰丸小構内にあり、校舎とイチヨウの木を見ながらの地元でとれた十割そば 蕎麦カフェSCHOLA (スコラ) 11:10	11:40	※2022年度只見線全線開通予定 ※会津西方駅13:03発 13:05通過予定 ○道の駅 尾瀬街道みしま宿 13:20	13:20
② 昭和村 交流・観光拠点施設「喰丸小」 12:00		① 博士トンネル工事現場 12:55		③ 第一只見川橋梁ビューポイント 13:20			
④ 第二沼沢発電所 13:35		⑤ JR只見線乗車で紅葉をお楽しみください 会津川口駅 15:15		会津柳津駅 16:30		福島駅 18:45	

記入例 / JR 航空機 鉄道 バス 船 ケーブルカー ロープウェイ 徒歩
 ○ : 入場観光 ◯ : 下車観光 △ : 車窓観光

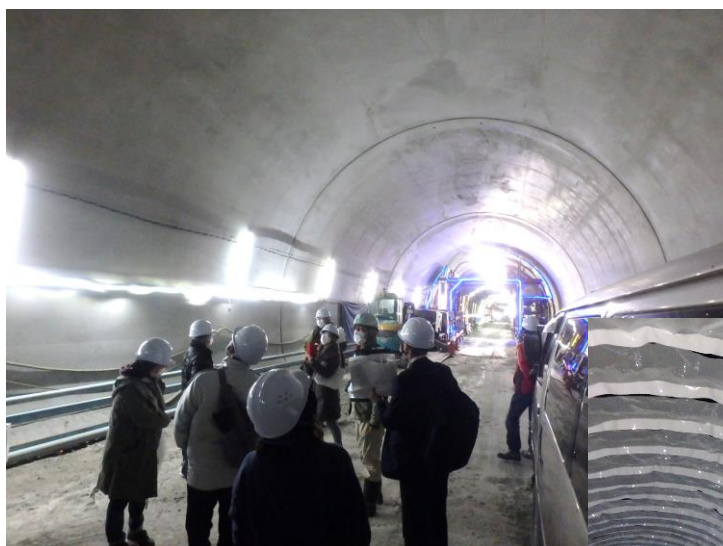
①博士トンネル 工事現場（昭和村）

国道401号は会津若松市を起点とし群馬県沼田市に至る延長220kmの道路であり、沿線の住民の生活を支える重要な路線となっております。

しかし、大沼郡会津美里町と昭和村の町村境に位置する博士峠においては、幅員狭小、急カーブ、急勾配等により、著しく交通の支障となっており、冬期間においては、雪崩等の危険性のため通行止めとなっており、道路交通上の大きな障害となっております。

このため、本事業は、博士峠部の道路改良事業を実施することにより、以下の整備効果が期待されております。

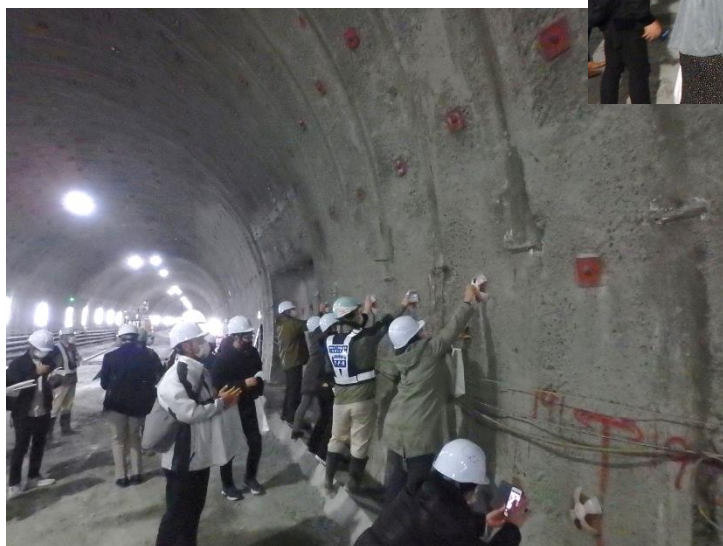
- ①冬期通行止めの解消と災害時の代替路の確保
- ②第3次救急医療施設へのアクセス向上
- ③地域振興の発展



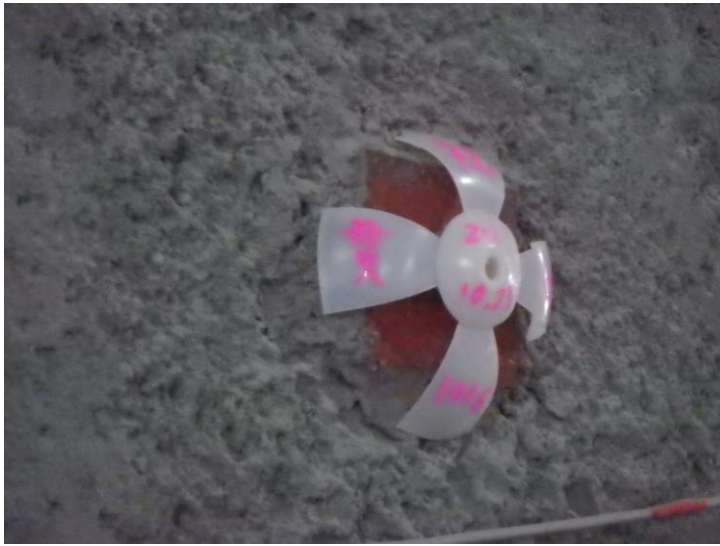
◀車を乗り換え、入り口から1000mほど先にある現場まで移動しました



▶防水シートについて説明



◀見学記念としてサインしたロックボルトキャップを設置している様子



◀見学記念としてサインした
ロックボルトキャップを設置

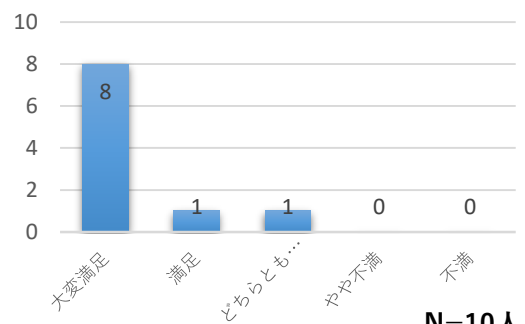


▲昭和村抗口を背景に案内人と一緒に記念撮影

🏠 アンケート結果 🏠

- ・トンネル工事の大変さ、トンネルの安全性を知ることができた。
- ・説明が分かりやすく、楽しかったです。
- ・大変な工事に携わっている方々に頭が下がる思いです。
- ・普段見られない所が見られた。

アンケート評価結果



②蕎麦カフェSCHOLA（スコラ）（昭和村）

交流・観光拠点施設「喰丸小」の構内にあり、旧・喰丸小学校の新校舎を改装して2018年にオープンしたカフェです。

2021年新蕎麦の提供が始まりました！

SCHOLAは、「すこら」と読み、ラテン語で、「学校」を意味します。



◀校庭の大イチョウ、旧・喰丸小学校と蕎麦カフェSCHOLA（スコラ）の外観

▶店内の様子

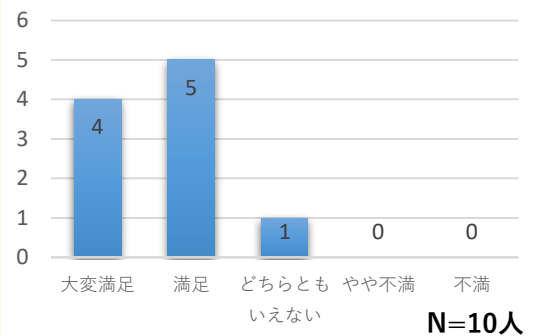


◀けんちん蕎麦（普通盛り）

📄 アンケート結果 📄

- ・ ゆったりとした気分でいちょうの木を見ながら食事できました。
- ・ おいしかったけど量的に物足りない。
- ・ 蕎麦を使った料理がメニューにもう1つあって良いと思った。
- ・ 違うメニューも気になったので、食べてみたいです。
- ・ 新そばの風味があり店内も清潔で満足。

アンケート評価結果



②交流・観光拠点施設「喰丸小」(昭和村)

昭和12年(1937年)に建築され、昭和55年(1980年)に廃校となった旧・喰丸小学校が改修され、平成30年(2018年)4月に村の交流・観光拠点施設「喰丸小(くいまるしょう)」として生まれ変わりました。

校庭には、秋になると見事な黄葉を楽しませてくれる、樹齢120年を超える大イチョウがそびえています。



◀旧・喰丸小学校

▶旧・喰丸小学校の教室内部の様子



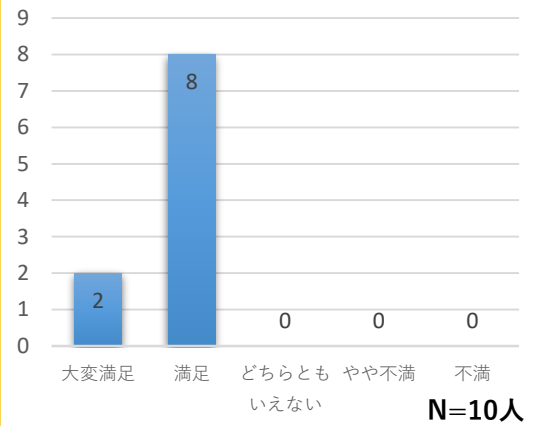


◀校庭の大イチョウ

📄 アンケート結果 📄

- 学生時代を思い出し、懐かしい気持ちになりました。
- 中に当時の写真や村の写真など展示するのはいかがでしょうか？
- あげまんじゅうがとてもおいしかったです。
- 喰丸小の説明ができる人から軽く説明があると良い。
- タイムスリップ感があり現実逃避できた。

アンケート評価結果



③ JR只見線第一只見川橋梁ビューポイント（三島町）

道の駅尾瀬街道みしま宿の近くにあるビューポイントから、JR只見線第一只見川橋梁を走る列車を撮影しました。



▲タイミングが合えば、橋梁を渡る列車を見ることができます。

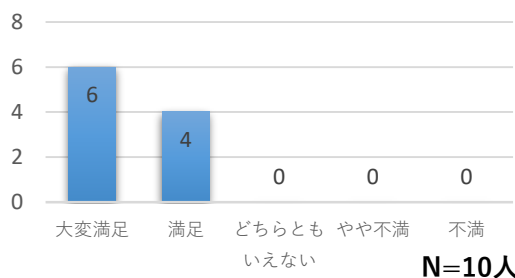


▲列車通過時刻表があるので、通過の時刻に合わせて撮影することができます。

📄 アンケート結果 📄

- ・とても良い写メが撮れました。
- ・列車の通過を見られたので良かった。
- ・景色が良かった。
- ・階段はかなりきつかったが、満足のいく写真が撮れた。

アンケート評価結果



④第二沼沢発電所（金山町）

「東北電力株式会社 第二沼沢発電所」は沼沢湖を上池、只見川の宮下調整池を下池とし、その間の落差214mを利用して発電と揚水を行う最大出力46万kWの揚水式発電所です。

上池の沼沢湖は満水時の湖面の標高が475m、周囲8km、最深部が90mを超える約6,000年前の火山活動によってできたカルデラ湖です。

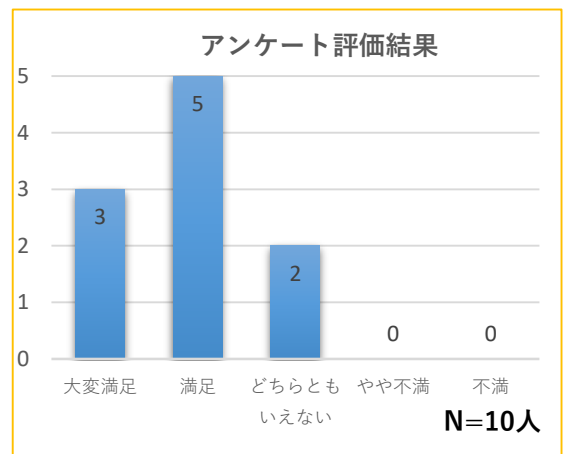
この付近は、越後三山只見国定公園に編入された区域となっており、景観保護のため発電所の主要な構造物を地下式にしたほか、水質保全のための水質監視装置や上池に生息するヒメマスを保護するための魚群迷入防止装置を設置するなどの配慮がなされています。



発電用のポンプ水車の真上で記念撮影

アンケート結果

- ・なかなか一般人では見られない所まで見せていただき、水力発電の仕組みが少し理解できたように思う。
- ・初めて見る内部はすごかった。説明はやや難しかった。
- ・DVDと見学で理解が深まりました。
- ・施設内部を見られたのはいいが、専門的すぎてわからなかった。



⑤ JR只見線乗車体験（会津川口駅～会津柳津駅）

最後はいよいよ只見線に乗車！車内からは紅葉した山々や雄大な只見川の景色を楽しみながら、只見線第一只見川橋のビューポイントなどを車内から眺めながら楽しい時間を過ごしました。



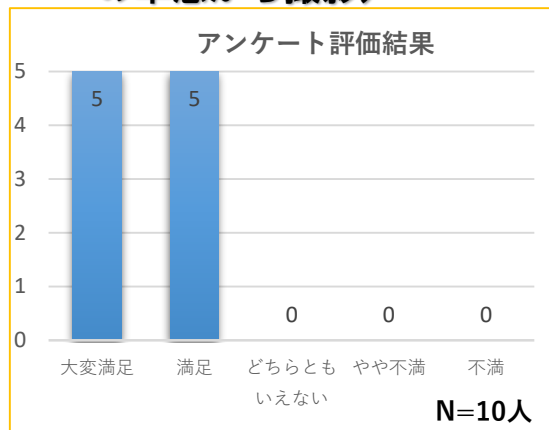
▲会津川口駅での折り返し
運転中の只見線。



▲会津西方駅のざる菊（只見線の車窓から撮影）

📄 アンケート結果 📄

- ・特に橋にくと、徐行してくれる配慮が良かった。
- ・乗ってみたかったので大変よかったです。
- ・緑が多い景色も青空と川の色と一緒に映えて美しかった。
- ・アナウンスも入って、売り子もいて、すごく満足です！！



📖 編集後記 📖

今回のモニターツアーでは、施工中のトンネルやインフラ施設のビューポイントや普段入ることのできない発電所内部を見学しました。

また、アンケート結果から土木施設を見るだけでなく、ここでしかできない体験をすることが重要だと分かりました。これらを基に、より一層奥会津地域における土木施設の観光資源化に取り組んでまいります。

土木部メールマガジン登録随時受付中!!

土木部メールマガジンでは、土木部の取組みや情報を定期的に発信しています。最新号のメール配信を希望の方は、下記により登録をお願いします。

これまでに配信したメールマガジンについては、土木企画課のホームページ（<http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/41025a/doboku-mm.html>）からご覧いただけます。

メールマガジン（無料）の配信をご希望される方は

【土木部メールマガ希望または、解除】
をお書きのうえ下記アドレスまで
メール送信してください。



doboku_mailmagazine@pref.fukushima.lg.jp

土木企画課（システム担当） 024-521-7886

【まちづくり瓦版 発行元】
福島県土木部まちづくり推進課

TEL 024-521-7511

FAX 024-521-7956

e-mail machizukuri@pref.fukushima.lg.jp

URL <http://www.pref.fukushima.jp/machi/>